

松陽地区 コミュニティだより

■編集・発行／
松陽地区コミュニティ推進協議会
■住所／
十和田市大字立崎字立崎20-2

第2回 松陽地区 「ふれあいフェスタ」を開催！

松陽地区「コミュニティ推進協議会」

会長 立崎 享一



2月9日(日)午前10時から元松陽小学校体育館で、第2回目となる松陽地区「ふれあいフェスタ」を開催いたしました。これは地域住民がこぞって集い交流を深め合い冬場でのいつときを子どもか老人まで一緒に踊りや唄などで楽しんでもらおうと昨年に引き続き「フェスタ」実施したものです。

今回開催にあたっては地域の皆さんの多大なご協力をいただきました。特に豊ヶ岡保育所の竹内所長から昨年に引き続き快く出演を承諾いただいたこと。また、昨年はコロナに感染し出演できなかった障がい福祉サービス事業所「農工園千里平」の坂本事務長から「今年は張り切って頑張ります」との元気な掛け声をいただき2種目踊っていただきました。さらには「十和田市消費者の会」の皆さんか

らは食品の偽装表示や通販販売で定期購入トラブルを分かりやすく寸劇で、フェスタの「トリ」は松陽地区の児童生徒11名による「大深内地区少年駒踊り」で少ない人員ながら勇壮豪快に踊っていた。き、地域の皆さんは大変喜び大きな拍手を送ってくれました。来年は立崎駒踊りと児童生徒の少年駒踊りの「競演」を考えているところで楽しみです。

また、各町内会からもご協力をいただきました。踊りやカラオケ、コントなどたくさんのお花」が上がるなど大変盛り上がりしました。

2回目の企画でしたが、帰り際に「かわいかった」「楽しかった」「面白かった」との声を聞き大きな勇気をもらいました。来年度開催に向けて、もっと多くの皆さんが参加できるように運営や進行など検討しなければいけないと思っています。

コミュニティ組織を創ってまだ3年足らず、まだまだ組織上の問題や運営への課題など数多くありますが各町内会長、体育振興会、防犯協会松陽支部、大深内小中学校、PTA、各機関等のご協力、ご支援の下に密接な連携を図りながら活動してまいりますので宜しくお願いいたします。

「青少年に夢を・高齢者に生きがいを」頑張ります。

第2回 松陽地区「ふれあいフェスタ」に参加して



障がい福祉サービス事業所
農工園千里平
施設長 坂本 秀美

令和7年2月9日(日)に「松陽地区ふれあいフェスタ」が開催され、初参加させていただきました。障がい福祉において、農業分野では地域との循環型での連携で大変お世話になっておりますが、今回福祉分野にて踊りで地域との交流することができました。

昨年も、お声を掛けていただき参加する予定でしたが、インフルエンザ・コロナウイルス感染症に罹患される利用者さんが続いたことから参加できなかった苦い経験がありました。今回は、「元気がつらつ」緊張感を持ってはりきって踊りを披露できました。

踊り担当職員の小田生活支援員からは「地域住民の方々とふれあう事ができるのか少しの不安と楽しみたいという思いで練習を行いました。前日のリハーサルでは、スタッフさん方の心とお言葉で緊張感がほぐれ、当日はとても楽しく踊る事ができました。大拍手」と「来年も来てね」「良かった」という心温まるエールをいただき感謝の気持ちで一杯で

す。今回も地域住民の方々とおふれあえたこの日を大切に、「これからできる事の頑張りにつなげていきます。」と感想を述べていました。

職員も通常の支援という業務をしなから、施設の特徴の一つとして長年取り入れてきた「踊り」を、交流会や催し物等で披露して社会との交流の一助として繋げていきたいと思っています。

私達は、今後も地域社会とのつながりの中、利用者さん一人一人が社会参加・貢献へと繋げる取り組みを交えながら取り組んでまいりますので皆様方のご指導、ご支援を宜しくお願いいたします。



第2回 松陽地区「ふれあいフェスタ」特集!!



踊り「俵屋玄蕃」
立崎町内会 立崎 ゆり子 さん



観客の大きな拍手が出演者の励みになります



豊ヶ岡保育園児によるドレミの歌（英語バージョン）とダンス



カラオケ「長良川艶歌」
豊ヶ岡町内会 大下内 真一 さん



カラオケ「熱き心に」
立崎町内会 立崎 和寿 さん



保育園児の踊りに「めんこい」「かわいい」と大きな拍手



踊り「一本勝負」
東栄町内会 大久保 幸子 さん



鐘に急遽応援にかけつけた山田りらさんと太鼓の田高桜来君



「三方講子」も息がぴったり お見事



山崎兄弟(李々果・悠仁)と伊沢陽衣君の笛吹き



千里平農工園の皆さん。昨年のコロナのうっぶんを晴らすかのように大熱演
踊り「恋のABO」



踊り「あの娘は行っちゃった」



舞台狭しとダイナミックな踊りでした



大深内地区少年駒踊り
松陽地区内の児童生徒11名が頑張りました



寸劇「通販での定期購入トラブル」
十和田消費者の会



観客も一緒になって「フェスタ」を楽しみました

豊ヶ岡町内会「けやぐ会」を訪問

代表
力石 久夫 さん

2月11日(火・祭日)に豊ヶ岡集会所で行われている「けやぐ会」の集まりがあるということで訪問しました。

そもそもこの会の目的は、町内でも高齢者だけの世帯や一人暮らし家庭が多くなったため、集会所に集まって皆とおしゃべりしたり体を動かしたりちよつとしたゲームなどで「ボケ防止」を行いながら食事をしあおうと企画したと代表の力石久夫さんが話されていました。

力石さん自身も大病を患い3ヶ月ほど入院した時に、仲間や地域の皆さんとの励ましと交流が大きな支えになったことがきっかけで地域における交流の大切さを痛感しこの会をつくったと話され、昨年12月24日のクリスマスに会を立ち上げ現在は18名の方が参加されているそうです。(ちなみに参加費は男1,200円、女は1,000円)

当日は、ラジオ体操とゲームで体と頭をリラックスさせた後、楽しい食事とおしゃべり会が始まりました。参加した人から、「家にいると何もしないのでボケツとしていることが多かったが、この会にきて心の通った皆さんなんでも気軽にしゃべりが出来るし、楽しいです。」と話されていました。

代表の力石さんは、「これからも町内の方々と融和を図りながら楽しい会にしたい」と抱負を述べていました。
豊ヶ岡に限らず、どこの町内でもこれからは少子高齢化で人口は減っていく**限界集落**になっていくのが心配されます。皆さんの地域でも何らかの対策が必要になってくると思います。



まずは体をほぐすため「ラジオ体操」



頭の体操「クイズ」に挑戦！



生い茂った草刈り作業



雪の中でのロープ張り作業

松陽スキー場の草刈りと1月23日にロープ張りを行い照明も確認しながらナイタースキー場を開設しました。
12月の大雪がウソのように雪が降らず少ない雪の中での悪コンディション中

松陽スキー場で「ナイター」を開設



事故の無いよう監視小屋から見守ります。



親子でスキーを楽しみました。

スキー愛好会(代表 山瑞正男さん)の皆さんが6日間事故の無いよう連夜監視しました。
(当初は9日実施する予定でしたが、雪が少ないため6日間に短縮)